

5 旅行に関する意識

1) 周遊型・滞在型について

全体では「効率よくいろいろなところを周遊する旅行が好き(周遊型の旅行)」が 36.4%、「訪問地は少なくとも、ゆっくり滞在する旅行が好き(滞在型の旅行)」が 63.6%となった。

「効率よくいろいろなところを周遊する旅行が好き(周遊型の旅行)」の割合は、男性に比べ女性で高くなっている。

居住地別にみると、首都圏より大阪圏のほうが「効率よくいろいろなところを周遊する旅行が好き(周遊型の旅行)」の割合が高い。

また 18~29 歳、収入なし・収入 300 万円未満の層で「効率よくいろいろなところを周遊する旅行が好き(周遊型の旅行)」の割合は高く、特に 18~29 歳では過半数を占めている。

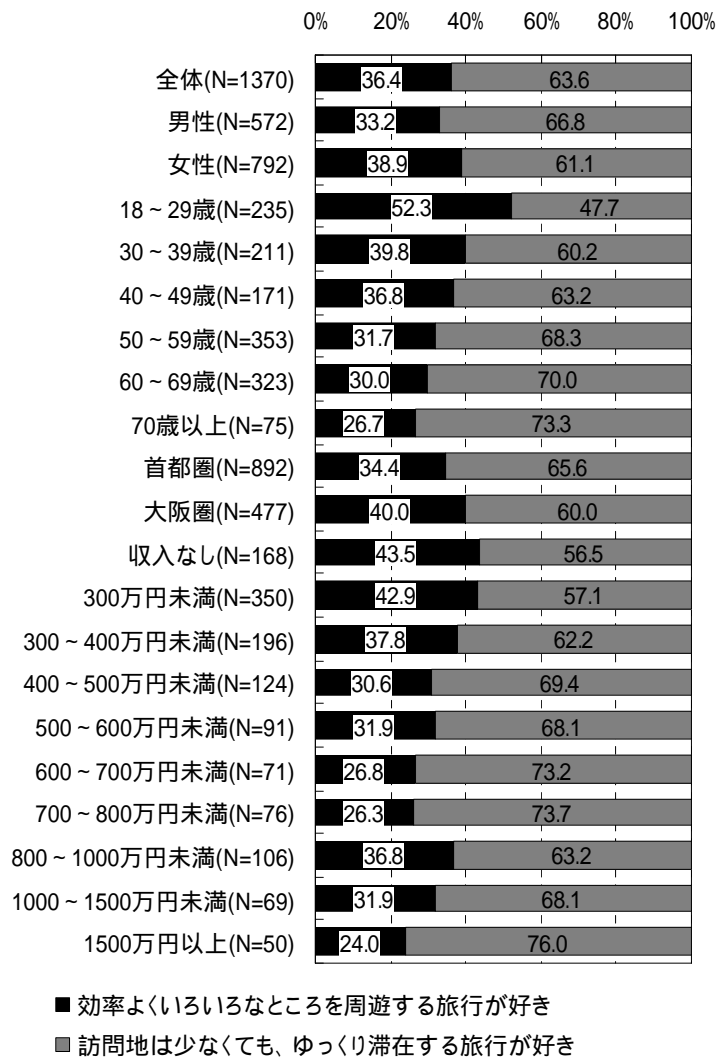


図 5-1 周遊型・滞在型について

2) 旅行費用について

全体では「たとえ回数は少なくても、デラックスな旅行がしたい」が50.4%、「旅行費用はなるべく抑えても、旅行には頻繁に行きたい」が49.6%と、ほぼ半々であった。

「たとえ回数は少なくても、デラックスな旅行がしたい」の割合は、女性に比べ男性で高い。

また、年代が上がるほど、また収入が多いほど、「たとえ回数は少なくても、デラックスな旅行がしたい」の割合は高くなる傾向がみられ、収入1500万円以上の富裕層では76.0%を占めている。

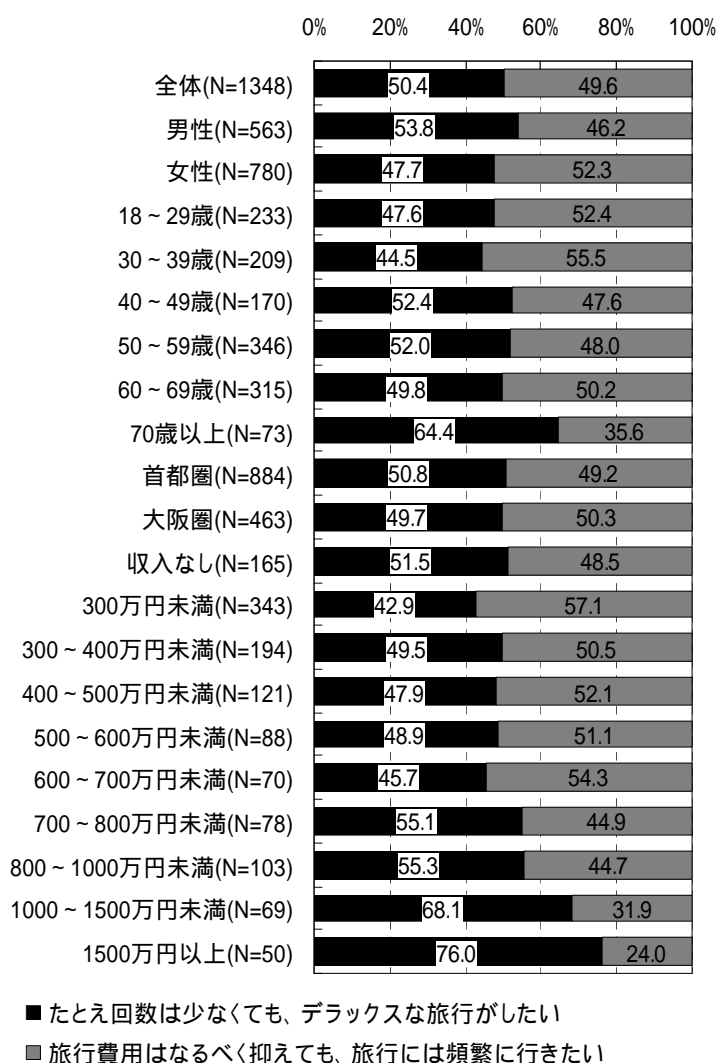


図 5-2 旅行費用について

3) 訪問地について

「人があまり行っていない新しいところを旅行したい」が 58.3%、「多くの人に人気があり評判の良いところを旅行したい」が 41.7%となっている。

「人があまり行っていない新しいところを旅行したい」の割合は女性に比べ男性で高く、男女間で 10%以上の差がみられた。

60 代以上の高齢層でも「人があまり行っていない新しいところを旅行したい」の割合が高く 6 割以上、また、収入が 1500 万円以上の富裕層では約 7 割を占めている。

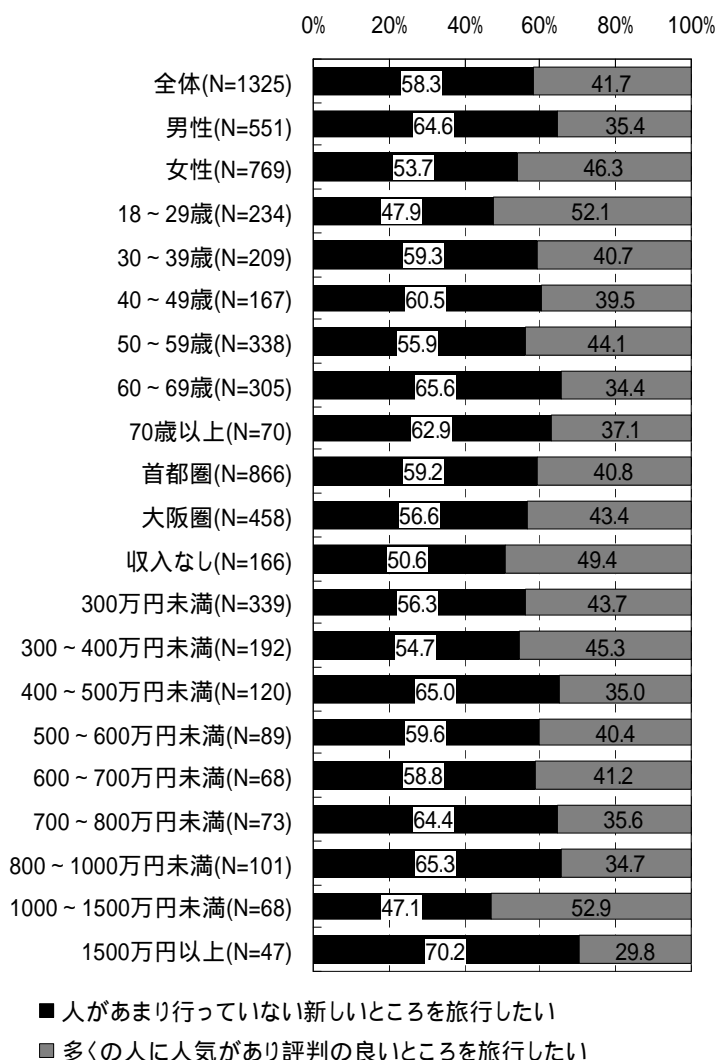


図 5-3 訪問地について

4) 宿泊施設の質について

全体では、「多少高くてもホテルや旅館の質は重視する」が 56.4%、「泊まるところのグレードはあまりこだわらない」が 43.6%であった。

年代が上がるほど、また年収が多いほど、「多少高くてもホテルや旅館の質は重視する」の割合が高くなる傾向がみられ、70歳以上では 63.9%が、年収 1500 万円以上の富裕層では 81.6%が宿泊施設の質を重視している。

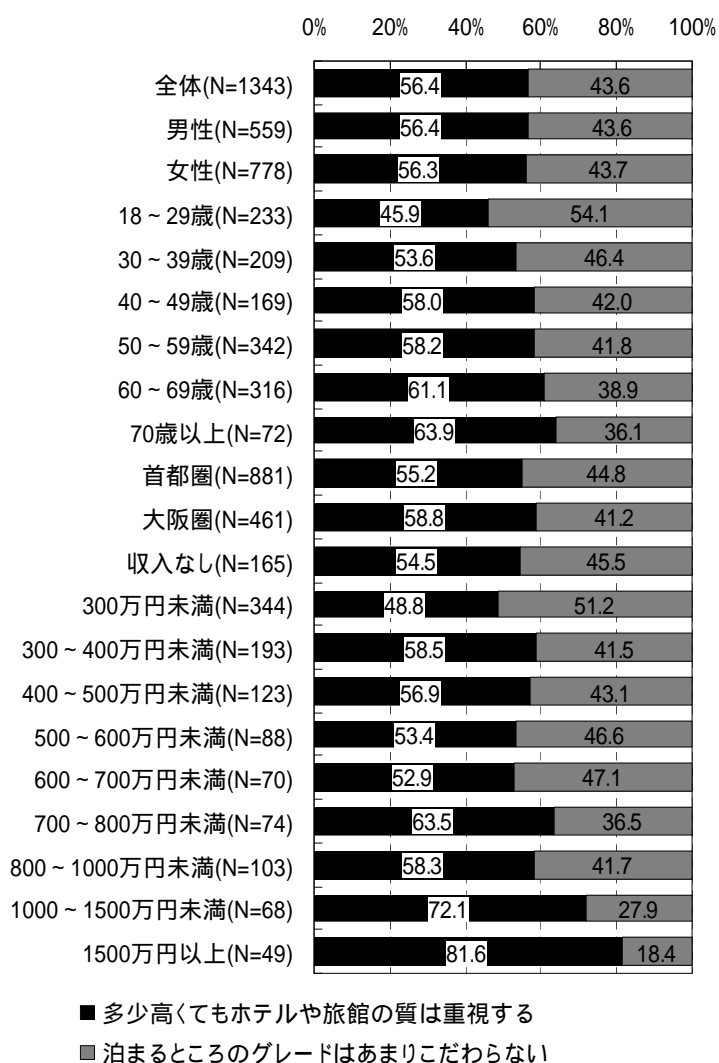


図 5-4 宿泊施設の質について

5) 海外旅行・国内旅行について

全体では、「同じ旅行費用であれば、国内より海外を旅行したい」が 43.5%、「同じ旅行費用であれば、海外より国内を旅行したい」が 56.5%であった。

年代が上がるほど国内志向が強い傾向がみられ、50代以上ではおよそ6~7割が「海外より国内」と答えている。

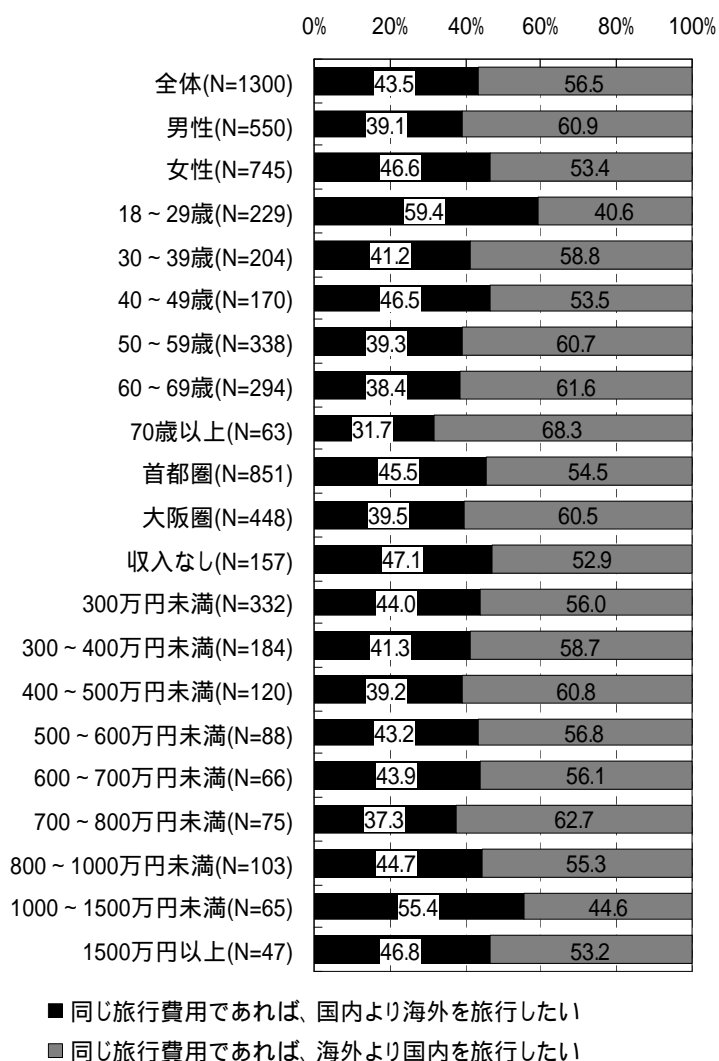


図 5-5 海外旅行・国内旅行について

6) 旅行手配について

全体では、「キップやホテルの手配はなるべく自分でする」が 43.1%、「便利なパック旅行商品を利用したい」が 56.9%となっている。

男性では「キップやホテルの手配はなるべく自分でする」の割合が 55.8%と高く、男女間で約 20%の差がみられた。

また、18～29歳を除き、若い世代であるほど、また年収が多くなるほど、「キップやホテルの手配はなるべく自分でする」の割合が高くなる傾向がみられた。

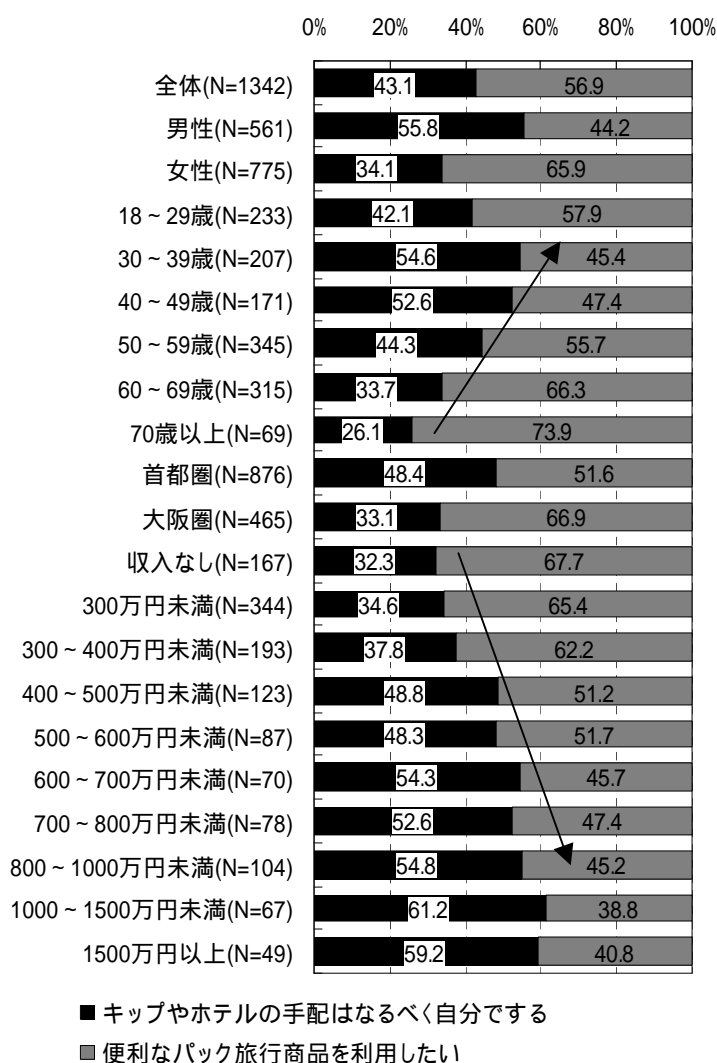


図 5-6 旅行手配について

7) 情報活用について

全体では、「旅行情報は、幅広い情報源から自分で探したい」が 53.1%、「あらかじめ選択された情報をうまく利用したい」が 46.9%であった。

男性では「旅行情報は、幅広い情報源から自分で探したい」が 63.8%と高く、男女間で 15%以上の差がみられた。

年代別にみると 30 代以下では「自分で探したい」の割合が 6 割を越えている。

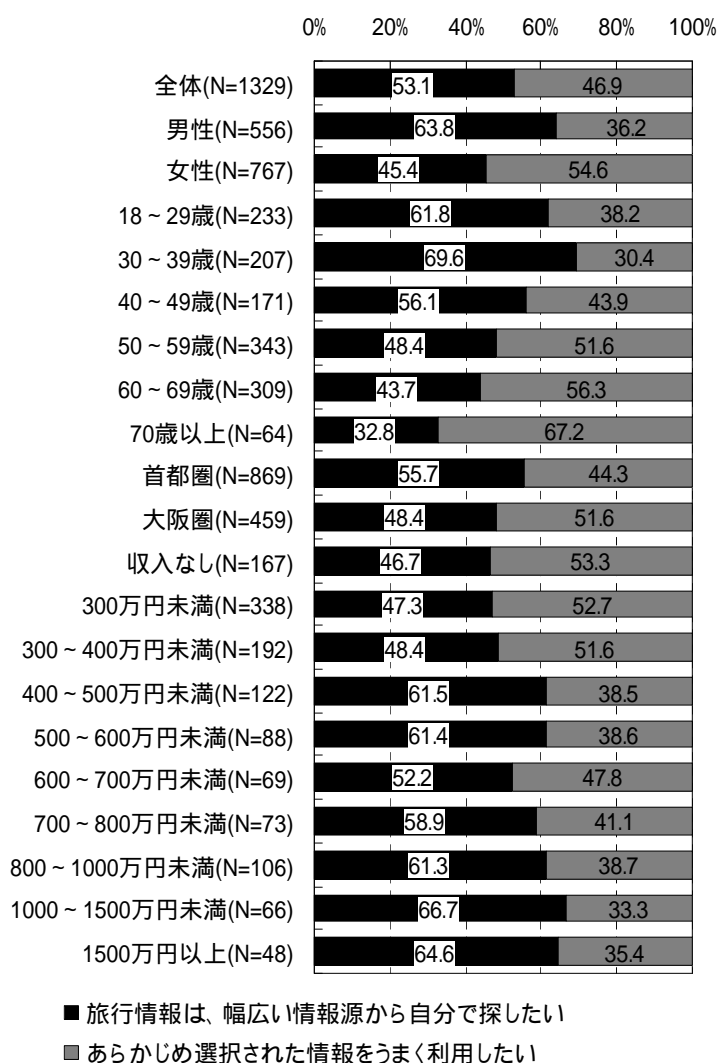


図 5-7 情報活用について

8) 個人旅行・団体旅行について

全体では、「個人旅行より団体旅行のほうが好き」が 18.3%、「団体旅行より個人旅行のほうが好き」が 81.7%であった。

40代以下では大きな差はみられないが、50代以上では年代が上がるほど団体旅行を好む割合が高くなる傾向がみられ、70歳以上では 35.7%が「個人旅行より団体旅行のほうが好き」と回答している。

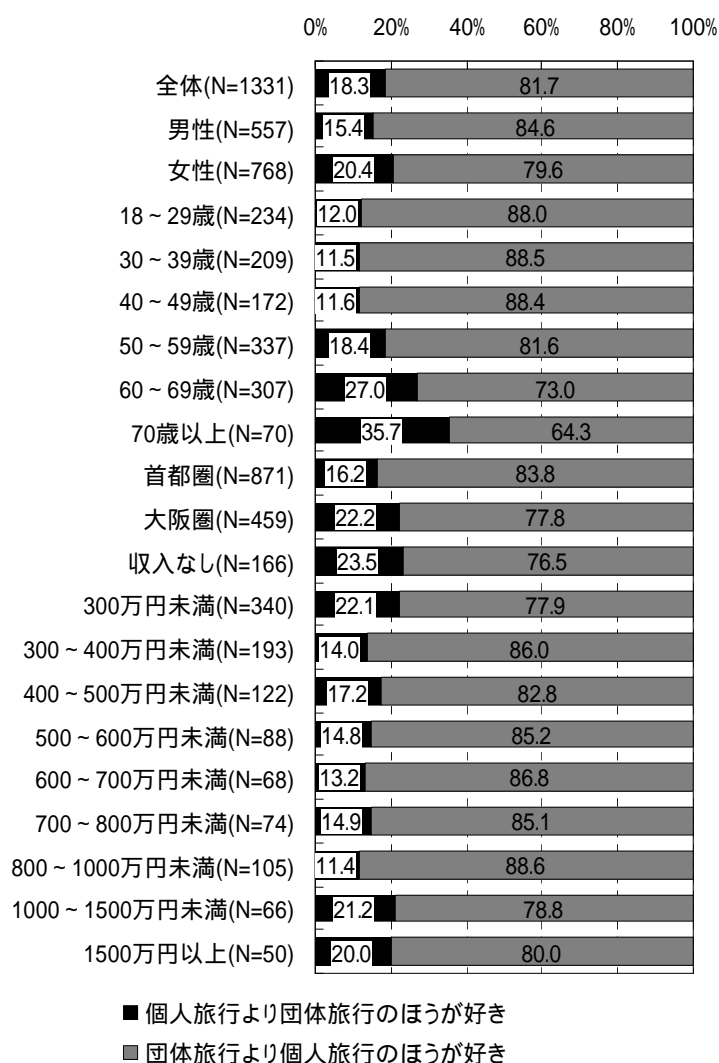


図 5-8 個人旅行・団体旅行について